

## 食科学部 栄養学科

### 【栄養教諭一種免許状】

#### ① 教員養成の目標

近年、社会環境が変化し、食生活の多様化が進む中で、子どもの食生活の乱れが問題となっている。子どもたちが正しい知識に基づいて自ら判断し実践していく「食の自己管理能力」や「望ましい食習慣」を身につけることは極めて重要な課題であり、学校等における指導を含む早急な対策が求められている。本学における栄養教諭の養成は、栄養教諭制度が始まった 2005 年 4 月より行われており、現在の食に関する課題を的確に捉え、「食に関する指導（個別的な相談指導、教科や特別活動における指導、食に関する指導の連携・調整）」と「学校給食の管理」を一体的に行うための十分な知識や技術を身に付けた専門的能力を有する人材の養成を目標としている。

#### ② 当該目標を達成するための計画

入学時に栄養教諭に関するガイダンスを行い、栄養教諭履修希望者には指導教員が 4 年間の履修計画の提出を求め、教職に関する心構えについて面接指導する。栄養学科では、栄養、食品、調理、医学等の各分野に必要な基礎ならびに専門科目を配置しており、さらに栄養教諭養成の目標を達成するための体系的な教育課程を編成している。すなわち、「教職に関する科目」と「栄養に係る教育に関する科目」を学び、4 年次の「栄養教育実習」の科目では実習校での実務を体験して、学校現場における栄養管理の考え方を理解して専門的技術を修得する。栄養教諭免許取得のための科目の履修計画においては、学校における食育を推進し、学校給食を活用した「食に関する指導」と献立作成や衛生管理等の「学校給食の管理」を一体的に展開するために必要な知識・技能を修得し、実践的な指導力を育成する。